Re-sonation展 2027

現代金工作家×中国古代青銅器



高橋賢悟
Kengo Takahashi

須藤 拓
Hiraku Sudo

中根絢女
Ayako Nakane

鈴木祥太
Shota Suzuki

藤川耕生
Kousei Fujikawa

久米圭子
Keiko Kume

吉田泰一郎
Taiichiro Yoshida

2027年
9月1日(水)ー10月17日(日)
泉屋博古館［京都会場］
〒606-8431 京都府京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24

2028年
1月22日(土)ー4月2日(日)［予定］
泉屋博古館東京［東京会場］
〒106-0032 東京都港区六本木1-5-1

主催：公益財団法人泉屋博古館、住友グループ各社、新聞社数社（予定）
企画協力：株式会社キュレイターズ

https://sen-oku.or.jp

Press Release

企画趣旨

泉屋博古館の所蔵品の中心をなす中国古代青銅器は、単に古代の遺物というだけでなく、美術工芸の模範として、のちの時代の制作にも大きな影響を与えてきました。泉屋博古館はこうした中国古代青銅器を所蔵するだけでなく、広く一般にも公開することで、その美術的・文化的価値を伝え、アーティストの新たな創造にも資するように活動してきました。

こうした館の活動方針にのっとり、2021年より「泉屋ビエンナーレ」と銘打ち、若手の金工作家に館蔵青銅器よりインスピレーションを受けた新作の制作を依頼する展覧会を過去2回実施してきました。今回は体制を一新したうえで、2027年度に京都と東京の2会場で開催予定です。

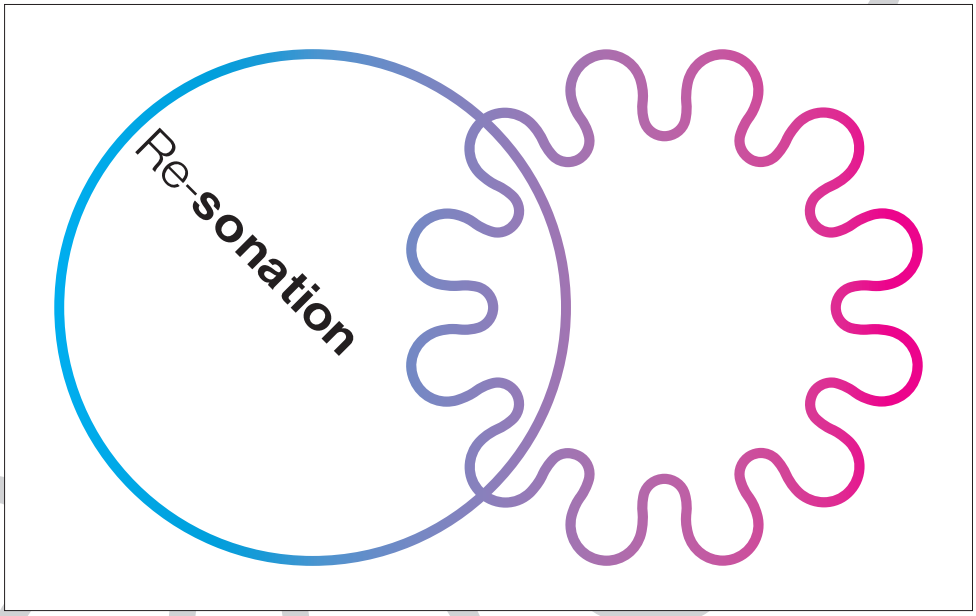
今回は鋳金だけでなく、鍛金・彫金にも範囲を広げ、より多彩な金工芸術のありかたと、時空間を超えた対話を通じて生まれてくる、新しく刺激的な空間をお楽しみいただける展覧会をめざしていきます。

Re-sonationとは

中国古代青銅器にインスパイアを得た現代の金工作家が、それに応答（Re-）するかたちで新たな作品を生み出す過程を、金属に特徴的な現象である共鳴（Resonation／Resonance）に譬え、このコラボ展示の企画を「Re-sonation」と名づけました。「Sonation」にはまた鳥類が喉を使わずに音を発する行為をさす意味も含まれます。言葉ではなく、みずからの作品によって作家が発する聲なき聲をイメージして名称に採用しました。

ロゴマークについて

Re-sonation展のロゴマークは、円（縁）と波紋（響）／収蔵品と現代作家とのマリアージュを表現しています。中国古代の青銅器にインスパイアをうけつつ、あらたな作品を生み出していく本展のコンセプトとも共鳴しています。



出展作家

久米圭子

Keiko Kume



《廻》

1985年千葉生まれ。金沢美術工芸大学 大学院
美術工芸研究科 修士課程 工芸専攻 修了。

主な活動歴
2026　工＋藝 KO+GEI 2026（東京美術倶楽部／東京）
2025　金工の深化Ⅲ（セイコーハウスホール／東京）
2025　未染 PRISTINE（富貴三義美術館／台湾）
2023　築室 Nesting（富貴陶園美術館／台湾）
2022　次代の金属（ギャラリーこちゅうきょ／東京）
2022　Contemporary Metalwork 変貌する金属
（岡山県立美術館／岡山）
2021　金工の深化Ⅱ（和光ホール／東京）
2020　第10回国際伝統芸術招待展
（上海芸術品博物館／上海）

主な受賞歴
2019　第35回淡水翁賞 優秀賞
2017　公益財団法人宗桂会 努力賞
2013　第8回清州国際工芸公募展 特選

パブリックコレクション
金沢美術工芸大学、金沢卯辰山工芸工房

鈴木祥太

Shota Suzuki



《ある花の住処―片喰―》

1987年宮城生まれ。東北芸術工科大学
工芸コース金属専攻修了。

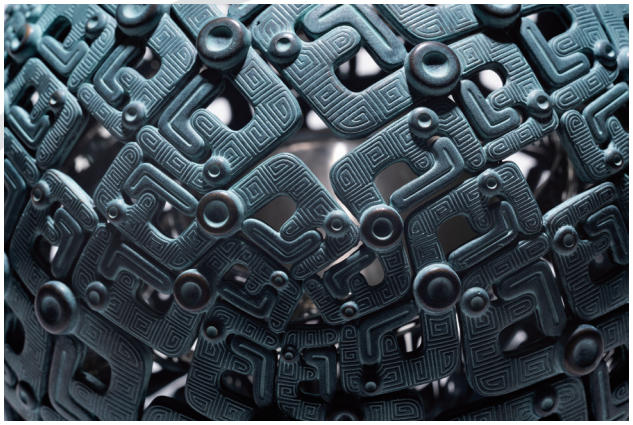
主な活動歴
2026　Homo Faber 2026: An Island of Light
（Island of San Giorgio Maggiore／ヴェネチア）
2025　今をつくる手たち（軽井沢脇田美術館／軽井沢）
2024　Meiji Modern: Fifty Years of New Japan
（ヒューストン美術館／ヒューストン）
Eternal Garden（Ippodo gallery new york／ニューヨーク）
Homo Faber 2024: The Journey of Life
（Island of San Giorgio Maggiore／ヴェネチア）
2023–2026　TEFAF Maastricht（MECC Maastricht／マーストリヒト）
2022　不自然（マンメイド）な植物展（角川武蔵野ミュージアム／埼玉）
Natural Mastery: Lacquer and Silver Works
from Japan（Stuart Lochhead Sculpture／ロンドン）
2017　プランツプラネッツ（はじまりの美術館／福島）
驚異の超絶技巧―明治工芸から現代アートへ―
（三井記念美術館・他／東京）
2016　日々是好日 根住くもの、脈々と
（塩竈市杉村惇美術館／宮城）
2013　夏の思い出 森の夢 不思議ないきものたち
（ヤマザキマザック美術館／愛知）

パブリックコレクション
ヒューストン美術館

出展作家

須藤拓

Hiraku Sudo



《幾何螭文球形香炉》

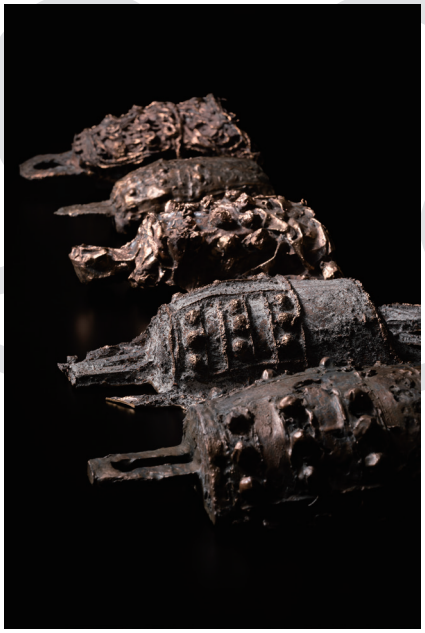
1979年大阪生まれ。京都伝統工芸専門校
(現 京都伝統工芸大学校)修了。

主な活動歴
2026　京都人 X Next Generation Artists2026
（京都府立文化芸術会館／京都）
2024–26　月夜の茶会展（銀座一穂堂ギャラリー／東京）
2023　須藤拓金工展（銀座一穂堂ギャラリー／東京）
2023–26　翔ぶ鳥展（銀座一穂堂ギャラリー／東京）
2022　JapanCraft21日本伝統工芸再生コンテスト
2013　Salon International du Patrimoine
（ルーブル美術館／パリ・フランス）
2012–15　京もの認定工芸士作品展（京都文化博物館／京都）
2008　京都芸術ビエンナーレ（京都文化博物館／京都）

主な受賞歴
2025　第72回日本伝統工芸展　日本工芸会新人賞
第54回日本伝統工芸近畿展　松下幸之助記念賞

中根絢女

Ayako Nakane



《Recast Resonance》

1986年茨城生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科
博士後期課程工芸領域（鋳金）修了。
女子美術大学非常勤講師、山梨大学非常勤講師、
日本鋳金家協会所属。

主な活動歴
2027　中根絢女展 Untie -bronze casting-
（GALERIE SOL／東京）
2026　M SCULPTURE 2026（GALERIE SOL／東京）
極小展-彫刻-2026（GALERIE SOL／東京）
中根絢女展 からだを解く-bronze casting-
（晩翠画廊／宮城）
2025　ふれてみる展覧会
（台湾国立中興大学、山梨県立図書館／台湾、山梨）
よつわ会彫刻展（ギャラリー青羅／東京）
LIFE vol12#5展（GALERIE SOL／東京）
2024　IMONO COLLECTION2024
（天王洲セントラルタワーアートホール／東京）
東京藝術大学博士審査展2024
（東京藝術大学美術館／東京）

主な受賞歴
2024　第27回 野村美術賞受賞

パブリックコレクション
東京藝術大学美術館

出展作家

髙橋賢悟

Kengo Takahashi



《祈りのうつわ》

1982年鹿児島生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程 美術専攻工芸研究領域（鋳金）修了。
広島市立大学 デザイン工芸学科 金属造形 非常勤講師。

主な活動歴

2026 第61回 ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展 公式サテライト企画「Personal Structures」（Palazzo Bembo ／ヴェネチア）
2024 「心象工芸展」（国立工芸館／石川）
2023 「跳躍するつくり手たち：人と自然の未来を見つめる アート、デザイン、テクノロジー」（京都市京セラ美術館／京都）
2020–2022 特別企画 和巧絶佳—令和時代の超工芸（パナソニック汐留美術館、みやざきアートセンター、アサヒグループ大山崎山荘美術館、松坂屋美術館／東京、宮崎、京都、愛知）
2021 東京芸術大学博士審査展（東京藝術大学美術館／東京）
フロム・ジ・エッジ—80年代鹿児島生まれの作家たち（鹿児島市立美術館／鹿児島）
2020 On This Shore（SEIZAN Gallery／ニューヨーク）
2019 鋳金の幻想（東京藝術大学 陳列館／東京）
現代工芸の展開2019∞（金沢市安江金箔工芸館／石川）
2018 ジャポニズムの150年展（パリ装飾美術館／パリ）
2017–2019 脅威の超絶技巧! 明治工芸から現代アートへ（三井記念美術館、岐阜県現代陶芸美術館、山口県立美術館、富山県水墨美術館、大阪あべのハルカス／東京、岐阜、山口、富山、大阪）
2017 第46回伝統工芸日本金工展（明治神宮／東京）
2016 髙橋賢悟 個展（靖山画廊／東京）
2015 第8回佐野ルネッサンス鋳金展（佐野市文化会館／栃木）
2013 第7回佐野ルネッサンス鋳金展（佐野市文化会館／栃木）

主な受賞歴

2021 「東京芸術大学博士審査展」野村美術賞
2017 「第46回伝統工芸日本金工展」（明治神宮／東京）
新人賞受賞
2013 「第7回佐野ルネッサンス鋳金展」（佐野市文化会館／栃木）
大賞受賞

パブリックコレクション

佐野市、東京藝術大学美術館、国立工芸館

出展作家

藤川耕生

Kosei Fujikawa



《布目象嵌爵》

1997年熊本生まれ。京都伝統工芸大学校・金属工芸専攻修了。
日本工芸会 準会員、京都伝統工芸大学校 非常勤講師。

主な活動歴

2026 工十藝（東京美術倶楽部／東京）
金属工芸家 藤川耕生 作品展（京都高島屋／京都）
信州松本に激レアな、お皿が集まるってマジッ?!! 展
（太雪美術館／長野）
2025 WHAT CAFE EXTION vol42:Framing Motion
（WHAT CAFE／東京）
亀岡城跡芸術祭（丹波亀山城跡／京都）
掌之小宇宙III ——藝術家的生命凝錬
（Touch Ceramics／香港）
オトボン・ンカンガ シェイプド・バイ・メニー
（金沢21世紀美術館／石川）
NEW TWIST 2（しぶや黒田陶苑／東京）

主な受賞歴

2024 第71回 日本伝統工芸展 日本工芸会新人賞
2023 第78回 熊本県美術協会展 協会賞
第79回 金沢市工芸展 NHK金沢放送局放送局長賞

パブリックコレクション
太雪美術館

吉田泰一郎

Taiichiro Yoshida



※本作品を起点に現在新作を制作しております。

《海獣葡萄鏡（かいじゅうぶどうきょう）》唐時代
／8世紀 泉屋博古館 蔵

1989年東京都生まれ、埼玉県育ち。東京芸術大学大学院
美術研究科工芸専攻彫金修了。

主な活動歴

2026 Homo Faber 2026（Fondazione Giorgio Cini／イタリア）
工十藝 2026（東京美術倶楽部／東京）
美の予感 2026—象・彫・刻・塑—（日本橋高島屋／東京）
2025 工十藝 2025（東京美術倶楽部／東京）
2024 Homo Faber 2026（Fondazione Giorgio Cini／イタリア）
2023 ポケモン×工芸展（国立工芸館／各地巡回）
超絶技巧、未来へ! 明治工芸とそのDNA
（岐阜県現代陶芸美術館／各地巡回）
2021 「妖—AYAKASHI」展（Bunkamura Gallery／東京）
2020 ブレイク前夜 in 代官山ヒルサイドテラス
時代を突っ走れ!（ヒルサイドフォーラム／東京）
2020 伽—山本タカト×吉田泰一郎—（gallery小暮／東京）
2019 「東美アートフェア 2019」['23, '25]
（東京美術倶楽部／東京）
2018 吉田泰一郎唸り（gallery小暮／東京）
2013 アートフェア東京 2014 ['15, '16, '18, '19, '21–'26]
（東京国際フォーラム／東京）

主な受賞歴

2013 原田賞
2012 安宅賞

開催概要



泉屋博古館［京都会場］



泉屋博古館東京［東京会場］

名称　Re-sonation展2027（仮称）

会場　泉屋博古館［京都会場］
〒606-8431 京都市左京区鹿ケ谷下宮ノ前町24
Tel: 075-771-6411

泉屋博古館東京［東京会場］
〒106-0032 東京都港区六本木1-5-1
Tel: 050-5541-8600（ハローダイヤル）

会期　［京都会場］2027年9月1日（水）～10月17日（日）
［東京会場］2028年1月22日（土）～4月2日（日）（予定）

開館時間　［京都会場］10:00～17:00
［東京会場］11:00～18:00、金曜～19:00
＊最終入館はいずれも閉館30分前

観覧料　［京都会場］一般1200円、学生800円、18歳以下無料
［東京会場］一般1500円、学生800円、18歳以下無料

休館日　月曜日（＊祝日の場合は翌平日に振り替え）

出品数　現代作家の新作&旧作、中国古代青銅器あわせて40点程度

主催　公益財団法人泉屋博古館、住友グループ各社、新聞社数社（予定）

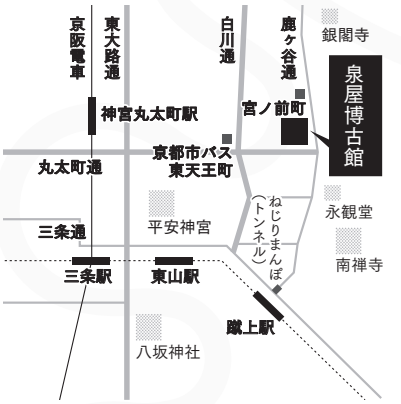
企画協力　株式会社キュレイターズ

広報に関するお問い合わせ先

泉屋博古館　pr-kyoto@sen-oku.or.jp
学芸員 山本 堯　広報担当 坂井さおり

泉屋博古館東京　pr-tokyo@sen-oku.or.jp
学芸員 田所 泰　広報担当 橋本旦子

交通アクセス



泉屋博古館

京都市バス
JR・新幹線・近鉄電車「京都駅」／京阪電車「三条駅」から５、105系統
阪急電車「烏丸駅」から32、203 系統
地下鉄烏丸線「丸太町駅」から 93、204 系統
5、93、203、204 系統：「東天王町」下車、東へ徒歩 200 メートル
32、105 系統：「宮ノ前町」下車すぐ

地下鉄
東西線「蹴上駅」から徒歩約 20 分



泉屋博古館東京

地下鉄
東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅下車
北改札正面 出口より屋外エスカレーターで徒歩3分
東京メトロ日比谷線「神谷町」駅下車・4b出口より徒歩10分
東京メトロ銀座線「溜池山王」駅下車・13番出口より徒歩10分

貸出可能画像



久米圭子
《廻》



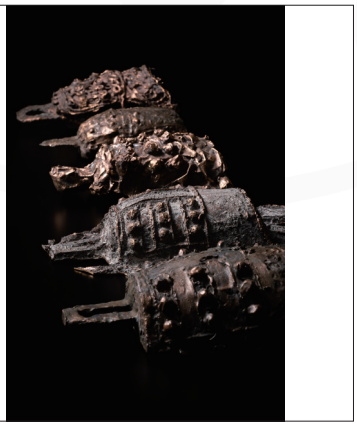
鈴木祥太
《ある花の住処―片喰―》



須藤拓
《幾何螭文球形香炉》



髙橋賢悟
《祈りのうつわ》



中根絢女
《Recast Resonance》



藤川耕生
《布目象嵌爵》



《海獣葡萄鏡（かいじゅうぶどうきょう）》
唐時代／8世紀 泉屋博古館 蔵



《鉤連雷文瓿（こうれんらいもんほう）》
殷後期／前12–11世紀 泉屋博古館 蔵

画像ダウンロード (ART PR)
URL https://www.artpr.jp/seoku-kyoto
QRコードはこちら